



フレンドタイム通信

令和3年 10月1日 (月)

今町小学校

No. 4

9月のテーマは「感情理解」

気が付けば朝夕は涼しげな気候となり、セミの鳴き声も、秋めいた虫の音に変わってきました。

さて、9月のフレンドタイム（対人スキルアップ学習）では、「感情理解」をテーマに学習しました。これは、自己の感情や他者の感情を理解することです。

相手に自分の感情を「正確に」伝える。一見、簡単なようで実は奥が深くて難しい。特に今は相手との距離をとることが求められている上、マスクで顔の半分がかくれ、声を出すことも控えなくてはならない状況。同様に、相手の気持ちを正確に「読み取る」ことも非常に難しくなっています。

そのような状況も踏まえ、各学年で『感情理解』をテーマに様々な取組を行いました。

各学級の様子

○【1・2年生】：「いろんな きもち」

低学年では、感情を表す言葉を増やすことや、それぞれの感情の場合において、『顔の表情』や『しぐさ』にどのような違いがあるかを学習しました。低学年の子どもたちにとって、自分の表情やしぐさが表したい感情にふさわしいのか判断するのは難しいことです。そこで、『気持ちカメラ』と題し、シャッターの音に合わせて様々な感情を『シカのコエ』を使って表現しながら、学習を進めました。



○【3年生・4年生】：「自分はどんな気持ち？」・「いろんな気持ち」

日常生活で有り得るいろいろな場面を想起しながら、「自分だったらどのような気持ちになるか」を考えました。学習を通して、場面が同じでも人によって感じ方が違うことや、同じ感情をもったとしても表し方は様々であることに気付きました。

○【5年生・6年生】：「相手はどんな気持ち？」 ※5・6年 代表授業

高学年になると、人間関係が複雑になり、気持ちを素直に伝えたり表したりしない場面が増えてきます。だからこそ、言葉の意味からではなく、その裏に隠された相手の気持ちを正しく理解することが、相手の気持ちになって行動する（思いやり・相手を助ける）ための第一歩です。感情クイズにチャレンジしながら、相手の感情を読み取る方法やその難しさについて考えることができました。タブレットを活用して、リモート学習を行っている子どもたちも参加しました。



○【きらきら学級】：「自分はどんな気持ち？」

学校生活では、うれしい、かなしいなど様々な感情がその時々によって表出します。しかし、1クラスの中に様々な学年の子ども達がいる「きらきら学級」では、伝える力や読み取る力も様々です。「感情ビンゴ」と題したゲームに取り組みながら、感情を伝えたり、読み取ったりする方法を学びました。